

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体					
校区の魅力発信プロジェクト(堺区魅力発信トークイベント「堺を歩けば。」)		堺区役所企画総務課					
事業目的	事業効果	活動指標	H27	H28	H29		
校区ごとの歴史・文化などの資源を区民主体で発掘・再認識する取り組みを通して、地域の魅力に気づき、誇りや愛着を感じるきっかけづくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・区民がさらに堺区への誇りや愛着を感じるようになる ・堺区の魅力ある資源を広く周知することができる 	参加者数	—	—	200人		
		参加者アンケートにおける満足度 (大変よかった・よかったの割合)	—	—	81.2%		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性				
○	区民評議会の答申において、地域の人が自分たちの地域の魅力に気づき、誇りや愛着を感じる取組を進めることが必要との提案を受けたところであり、本事業はこの提案を実現するきっかけとなるため妥当である。	○	民間により作成された堺区の魅力を発信するガイドブック「堺を歩けば。」が発行されたことにあわせて、ガイドブックの発案者や案内人、区民評議会委員などと、トークイベントを実施したことから、区民協働の視点に立った事業といえる。	○	トークイベントは、ガイドブックの発案者・案内人や発行者・編集者、行政など各々の視点から語り合うことで、堺区の資源や魅力を広くPRすることができた。また、終了後は、まち歩きを行い、地域の魅力を再確認することができた。	○	ガイドブックとトークイベントが関連していることから、相互にPRすることができたとともに、当日のトークイベントの動画を区ホームページやYouTubeに配信することによって、広く堺区の魅力を発信、再認識してもらう機会を創出できたといえる。
⑤自立発展性	総合評価						
△	区民が主体となって、地域の魅力を発掘・再認識し、発信できる仕組みの構築が必要であるため、現時点では行政の関与が必要である。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・民間が発行した堺区の魅力を発信するガイドブックをきっかけに、区民協働でトークイベントを行い、地域の魅力ある資源を発掘・再認識することができた。 ・まち歩きをして地域の魅力を再確認したことで、堺区へのさらなる誇りや愛着を醸成することができたといえる。 ・校区や区民が主体となって地域の魅力や資源を発掘・再認識し、簡単に発信できる仕組みを構築する必要がある。 				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	今回のトークイベントやまち歩きは、発案者や発行人、案内人などの人材と協働により実施できた。今後は、ホームページやSNS、アプリなどを活用して、各校区や区民が主体となり、地域の魅力や資源を発掘・再認識し、いつでも、どこでも、だれでも簡単に魅力を発信できる効果的な仕組みを構築・検討する必要がある。						